



# かまがわ

第14号  
2014.12



目次

1. 特集／感染症科・感染対策部
2. 診療科・中央部門紹介／形成外科、C6号病舎
3. 院内取組紹介／PCA術後鎮痛サービスについて  
かかりつけ医を持ちましょう！！  
糖尿病医療チーム「Team FUTABA」監修  
糖質・カロリーコントロールスイーツできました！
4. トピックス
5. くすりの豆知識／運転禁止 Drug > Drive
6. 臨床検査の豆知識／心エコー検査で何がわかるの？
7. 病院からのお知らせ

## 病院理念 世界トップレベルの医療を地域へ

### 基本方針

- 高度で安全な医療を提供します。
- 患者様の権利を尊重し、患者様本位の医療を提供します。
- すべての医療人は互いに連携し、チーム医療を推進します。
- 新しい医療を開発するとともに、未来を担う医療人を育成します。
- 京都府における基幹病院として、地域医療に貢献します。

### 患者様の権利

- 個人として尊重され、平等に良質な医療を受けることができます。
- わかりやすい言葉や方法で、十分な説明を受けることができます。
- 医療に関する個人情報やプライバシーは、保護されます。
- 診療録等に記録された自己の診療内容について、情報提供を受けることができます。
- セカンドオピニオン（他の医療機関等の意見）を希望される場合は、紹介を受けることができます。

# 感染症科 / 感染対策部



～適切な感染症治療ができる病院に～

## 感染症科

当院は京都府で唯一の第一種感染症指定病院であり、またエイズ拠点病院にも指定されています。これらを含む感染症診療の充実のため、2014年8月より感染症科が開設されました。



増加する HIV などの感染症の診療を外来、入院で行っています。外来は原則として予約制で毎週木曜日に診察を行っています。

今後、海外旅行や海外赴任者のための海外渡航者ワクチンを含む「ワクチン外来」も開設予定です。



院内では各診療科からの感染症全般に関する相談を受け、より良い診療が実施されるようアドバイスを行っています。当科の特徴は、医師だけでなく、看護師、検査技師、薬剤師などさまざまな職種が専門的知識と経験をもとに相互に連携して、感染症診療に携わっていることです。

## 感染対策部

当院の患者さんと院内で働く医療従事者を無用な感染から守ることが我々の使命です。感染症にかからないようにするために、病院のあらゆる部門と連携して、幅広く感染予防対策活動を実施しています。

最も簡便で効果的な予防対策である「手洗い」の指導から、エボラ出血熱の感染対策まで、極めて幅広く「感染予防」というキーワードで活動しています。



エボラ出血熱対応訓練の様子

# 冬に流行する感染症にかからないために



冬になるといわゆる風邪、インフルエンザ、細菌性肺炎などの呼吸器感染症や、ノロウイルスなどの感染性胃腸炎等様々な感染症が流行します。

いずれの感染症も感染しないように、また感染してしまった場合は他人にうつさないための「三つのポイント」を解説します。

## 1 手洗い



人の生活は手を使うことが基本であり、その手はいろいろなところに触れます。その結果ウイルスや細菌などの病原体が手に付着します。その手で、鼻や口、目に触れると感染することになります。石けんで手を洗うことで病原体は洗い流されます。食事の前、トイレの後、仕事の後、帰宅した時などに手を洗います。手のひらだけでなく、手の甲、指の間、指先、手首もしっかり洗い、十分に乾燥させることも忘れないでください。(下図を参考に手洗いを実践してください！)

## 2 咳エチケット



感染症にかかった人の咳やくしゃみのしぶきは、ウイルスや細菌が含まれ、約1m飛散します。咳が続く場合はマスクをする、くしゃみをするときは口と鼻を袖やハンカチで覆い、しぶきが飛ばないようにするなどの「咳エチケット」を守りましょう。

## 3 予防接種



インフルエンザワクチンは、接種によりインフルエンザの発症を予防したり、発症しても重症化を防ぐ効果があります。しかし、インフルエンザワクチンの効果は半年程度であり、また流行株も毎年少しずつ変化するため、「毎年、流行する前の11月～12月始めに接種する」ことが推奨されます。

細菌性肺炎の原因で最も多いのが、肺炎球菌という細菌です。肺炎球菌にはワクチンがあり、接種により一定の予防効果、肺炎球菌性肺炎による死亡率の低下が証明されています。

いずれのワクチンも接種に関しては、かかりつけ医にご相談ください。

手洗いの前に！

- ・爪は短く切っておきましょう！
- ・時計や指輪は外しておきましょう！

流水と石けんによる手洗いの方法

- 手指を流水でぬらす
- 石けんを適量取る
- 手のひらをこすり合わせてよく泡立てる
- 両手の指の間をこすり合わせる
- 手の甲をもう片方の手のひらでこする(反対側も)
- 指先でもう片方の手のひらをこする(反対側も)
- 親指をもう片方の手で包みこする(反対側も)
- 両手首までていねいにこする
- 流水でよくすすぐ
- ペーパータオルで水分を拭き取り乾燥させる

※ペーパータオルがない場所では、清潔なタオルで拭き取ってください。

# 形成外科

～患者さんの生活の質を向上させるために～

形成外科は、目に見える身体表面の形態や機能の異常を修復することにより、その人のQOL（quality of life：生活の質）を向上させることを目的としている診療科です。

多くの外科学は、“病巣部を切り取ること”を主たる治療としていますが、形成外科学は“欠損した部位を再建する”ことを目指している点が大きな特徴です。顔以外にも身体<sup>かいはう</sup>のあらゆる部位が治療対象になります。きれいに治すだけでなく、褥瘡<sup>じよくそう</sup>や放射線による皮膚潰瘍など治りにくい傷を治すことも形成外科の使命です。



治療の様子  
レーザー治療で  
あざやしみを  
消します。



治療で使用する機械  
左：黒色、茶色、青色の  
あざを消す  
中央：赤色のあざを消す  
右：小さな腫瘍を出血な  
く切除ができる



当院では以下の疾患に  
特に力を入れています。

- 顔面外傷・顔面骨骨折  
(新鮮外傷に救急対応いたします)
- 熱傷および<sup>はんこんこうしゅく</sup>瘢痕拘縮（ひきつれ）
- 顔面・手足・耳などの先天異常  
(<sup>こうしんれつ</sup>口唇裂・<sup>こうがいれつ</sup>口蓋裂、<sup>たししょう</sup>多指症など)
- がん切除後の再建外科  
(乳房再建や<sup>とうけいぶ</sup>頭頸部再建、四肢再建など)
- 皮膚がん・皮膚腫瘍  
(根治性・整容性を重視した切除と再建を行います)
- <sup>ぼはん</sup>母斑・<sup>けっかんしゅ</sup>血管腫などのあざ  
(手術だけでなくレーザー治療も積極的に行っています)
- 褥瘡（とこずれ）・難治性潰瘍  
(放射線潰瘍・糖尿病性足潰瘍など)
- リンパ浮腫<sup>ふしゅ</sup>

※診療日：月曜日、水曜日、金曜日

## 看護師紹介～C6号病舎～

C6号病舎は、形成外科・脳神経外科・神経内科・整形外科の混合病舎です。

形成外科の治療対象部位は、体幹・四肢・顔・体表すべてであり、患者さんの年齢層も赤ちゃんから老年期まですべての世代が対象です。

患者さんが安心して手術が受けられ、治療に専念できるようにスタッフ一同サポートさせていただきます。



## PCA 術後鎮痛サービスについて

「手術が終わって麻酔から覚めても、痛くないように」と思うことは、手術を受けられる患者さん誰もが心にいだく願いです。術後の痛みは精神的苦痛をもたらすだけでなく、身体的な回復を遅らせたりします。

麻酔科では、手術を受けられる患者さんの術後の痛みができるかぎり軽減できるように、「PCA 術後鎮痛サービス」を提供しています。

PCA（患者管理鎮痛法：Patient-Controlled Analgesia）とは、患者さんが自分自身で痛み止めの処方をコントロールできる鎮痛法です。

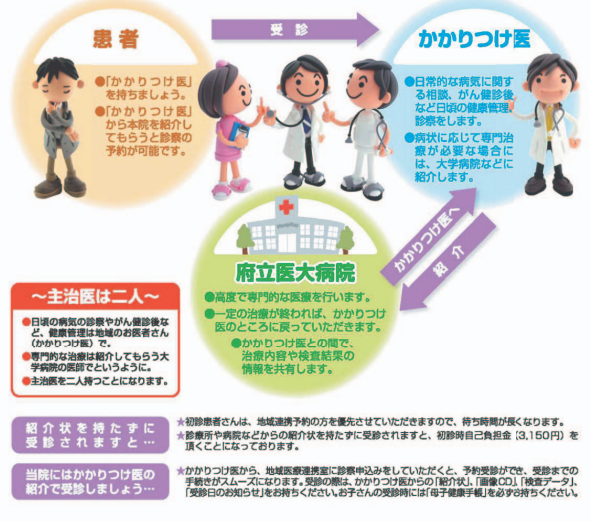
つまり、患者さん本人が痛いと思ったときに、自分で痛み止めの追加投与を行うことが、一番効果的で安全であるという考えから生まれてきた鎮痛法です。興味をお持ちの方は、麻酔科術前外来診察で説明を受けることができますので、一度お越しください。



## かかりつけ医を持ちましょう!!

### 地域医療連携とは

- ★ 府立医大病院は特定機能病院として、高度で専門的な医療を行います。
- ★ 地域の医療機関の先生と連携しており、そのお手伝いを地域医療連携室がしています。



## 糖尿病医療チーム「Team FUTABA」監修 糖質・カロリーコントロールスイーツできました!

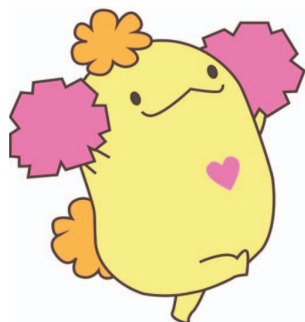
Team FUTABA と焼き菓子工房 maison de l'ours noir がコラボレーションして作成しました糖質・カロリーコントロールスイーツの販売が始まりました。

1商品あたり 100kcal 未満で、糖質も 50%以上カットしていますが（一般的なスイーツと比較）、味、価格ともに満足いただけるものになっています。糖尿病患者さんだけでなく、体重管理に取り組む方々にもお勧めのスイーツです。

院内の小田商店（中央診療棟 1 階）にて販売しておりますので、ぜひお試しください。



# TOPICS



フレフレちゃん

## ～フレフレちゃん誕生!!～

アートを活用した環境改善による治療効果アップを目指し、小児医療センターがマスコットキャラクターを公募しました。応募総数48作品の中から、滋賀県在住の山岸真奈絵さんの作品「フレフレちゃん」が選ばれました。

今後は、病気とたたかう子どもたちを応援するため、外来窓口や病棟内イベント等に参加し、治療のサポートを行っていく予定です。



## 近視進行予防点眼トライアルについて

近視進行予防に有望な点眼剤として低濃度の調節麻痺剤が注目されています。寝る前に1日1回点眼することで、近視の進行が遅れるという画期的な治療法です。

眼科ではこの点眼の効果を明らかにする臨床研究を行っており、被験者を募集しています。

応募の対象は

- ① 6～12歳の小学生男女
- ② 軽度の近視
- ③ 近視以外に目に病気がない

などです。

\* 研究にご興味がある方は眼科学教室ホームページ下記 URL をご覧ください。

→ [http://www.ganka.gr.jp/kinshi\\_yokusei\\_intro.htm](http://www.ganka.gr.jp/kinshi_yokusei_intro.htm)



## 「ちゃいるす」(京都子育て支援サイト) について

「ちゃいるす」とは、京都府が運営する未来を担う子どもたちをみんなで支えるポータルサイトです。子育て家庭へ役立つ情報の提供や、予防接種履歴や乳幼児健診の結果の保存など、子育て家庭に対し、webサイトと情報誌(フリーペーパー)で子育てや健康管理に役立つ情報の提供等により、子育て支援の様々なサポートができます。

対象者は、6歳以下のお子さんがいらっしゃる家庭の方、妊娠中の方です。

\* くわしくは、下記のホームページをご覧ください。

→ <http://www.chails.jp/>



## 「院内における携帯電話の利用ルール」の変更について

国の指針等を参考に、平成26年11月1日から、院内の「携帯電話利用ルール」を見直しました。

《携帯電話利用に当たってのお願い》

- ① 「通話禁止エリア」及び「携帯電話OFFエリア」以外では、携帯電話を御利用いただけるようになりました。<「携帯電話OFFエリア」は掲示しています。>
- ② 院内では、「マナーモード」設定をお願いします。
- ③ 診察室は、「通話禁止エリア」です。
- ④ 手術室、集中治療室(ICU等)、検査室、治療室等は、「携帯電話OFFエリア」です。  
必ず電源をお切りください。
- ⑤ 病室では、他の方の迷惑にならないよう、ご配慮をお願いします。



# 運転禁止 Drug > Drive



**ご存知ですか？お薬の服用が原因で自動車事故を起こす事例があることを！  
危険ドラッグだけでなく、病院で処方されるお薬でも！**

病院で処方されるお薬の中には「突然睡眠におちいる」「意識が失われる」などの副作用があるものがあります。慣れ親しんだお薬でも、飲む量が変わったり、体調の変化によって副作用が強くなる可能性があります。また、個人差もあります。このような危険性を避けるため、使用中は運転などが禁止されているお薬、あるいは、運転が禁止されないまでも、注意が必要なお薬があります。

自分だけは大丈夫！少しぐらい大丈夫！と過信する気持ちが事故へつながります。詳しくは医師・薬剤師にお尋ねください。

## 臨床検査の豆知識

臨床検査部 連載企画

### 第6回 心エコー検査で何がわかるの？



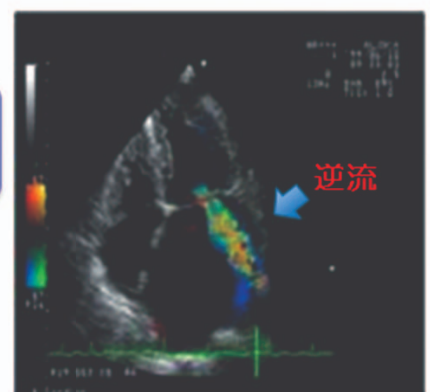
超音波検査（心エコー）とは、人の耳には聞こえない高周波数の超音波を心臓に発信して、返ってくるエコー（反射波）を受信し、画像に映し出して診断する検査です。X線撮影やRI検査のように放射線による被曝の心配がありませんので、妊婦や乳幼児でも安心して受けることができます。

この検査では、拍動する心臓をそのまま観察する事ができ、心臓の大きさ、壁の厚さや動き、弁の形態や血液の逆流の有無などが即座にわかります。

心臓を脇の下から見上げた画像だよ。



色がついている所は血液の流れを表わすよ。



僧帽弁逆流症（弁膜症）

# 病院からのお知らせ



## (1) イベント・講座等開催予定 (平成 26 年 12 月～平成 27 年 4 月)

事 項	時 期	内 容	参加費	問合せ先	
1	<b>ひだまりサロン</b> ◆平成 26 年 12 月 4 日 (木) 13:30～14:30 「がんの治療と口腔ケア」 ◆平成 26 年 1 月 15 日 (木) 13:30～14:30 療養中の患者さんとご家族の 「フリー座談会 乳がん」 ゲスト: 内分泌・乳腺外科 田口 哲也先生 ◆平成 26 年 2 月 5 日 (木) 13:30～14:30 「抗がん剤治療の副作用にうまく付き合うために」 <b>ひだまりサロン For Kids (託児あり)</b> ◆平成 26 年 12 月 11 日 (木) 11:00～12:00 小児がん「長期フォローアップについて」 講師: 小児科 三沢 あき子先生 ◆平成 27 年 3 月 5 日 (木) 11:00～12:00 小児がん「子どもの成長と病気の捉え方」	がん患者様とご家族を対象にした患者サロンとミニ講習会です。(がん患者様やご家族が体験を語り合い、情報を交換する場です。)	無料	がん相談支援センター TEL: 075-251-5283	
					会 場
		京都府立医科大学 外来診療棟 1 階 カンファレンスルーム	20 名		
2	①近視進行予防点眼 トライアル説明会 ②近視矯正手術 LASIK説明会 ③第 3 回眼科府民講座 「緑内障」	平成 27 年 1 月 24 日 (土) ① 13:00～13:30 ② 13:30～14:00 ③ 14:00～16:00	①小学生を対象にした近視進行予防点眼(めぐすり)の臨床研究説明会です。近視進行予防にご興味のある小学生多数の参加をお待ちしています。 ②近視手術レーシック普及のため、眼科学教室が開催している一般市民向け公開講座。 ③患者さんへの情報提供のため年 4 回眼科が開催している一般市民向け公開講座。	無料	眼科 加藤 浩晃 TEL: 075-251-5578
		(①～③いずれも) 京都府立医科大学 北臨床講義室	(①～③いずれも) 100 名		
3	①近視進行予防点眼 トライアル説明会 ②近視矯正手術 LASIK説明会 ③第 4 回眼科府民講座 「斜視弱視・ドライアイ」	平成 27 年 3 月 14 日 (土) ① 13:00～13:30 ② 13:30～14:00 ③ 14:00～16:00	①小学生を対象にした近視進行予防点眼(めぐすり)の臨床研究説明会です。近視進行予防にご興味のある小学生多数の参加をお待ちしています。 ②近視手術レーシック普及のため、眼科学教室が開催している一般市民向け公開講座。 ③患者さんへの情報提供のため年 4 回眼科が開催している一般市民向け公開講座。	無料	眼科 加藤 浩晃 TEL: 075-251-5578
		(①～③いずれも) 京都府立医科大学 北臨床講義室	(①～③いずれも) 100 名		
4	<b>歯科公開講座</b> 「第 20 回歯の健康講座」	平成 27 年 4 月 11 日 (土) 13:00～15:00	・歯科健診および身体測定 (13:00～14:00 希望者のみ) ・講演 (14:00～15:00) ・相談コーナー ・歯ブラシ等の清掃グッズの展示	無料	歯科 TEL: 075-251-5043 FAX: 075-251-5045
		京都府立医科大学 基礎医学学舎 1 階	100 名		

## (2) その他のお知らせ

事 項	内 容	問合せ先
1	<b>診療予約情報をメールでお知らせ</b> ご希望のメールアドレスに診療予約情報を予約日の前日に送信するサービスを行っています。 平日午前 9 時～12 時まで登録を受け付けますので、登録希望の方は外来診療棟 1 階総合案内までお申し出ください。	病院経営企画室 TEL: 075-251-5254

**休 診 日** 土曜日、日曜日、祝日、年末年始 (12 月 29 日～1 月 3 日)

**初診受付時間** 午前 8 時 45 分～午前 11 時まで

※再診受付時間は、各診療科にお問い合わせください。

※敷地内は全面禁煙といたしております。皆様のご理解とご協力をお願いします。

次 回  
平成 27 年 4 月  
発行予定



京都府立医科大学附属病院

〒 602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町 465

電話: 075-251-5111 (代表)

HP: <http://www.h.kpu-m.ac.jp>